

125. デジタル時代のITプロジェクトにおける「エンゲージメント力」アップ・トレーニング

1. 研修要領

・ITSS	2-3
・研修実施日	2022年9月15日(木)~2022年9月16日(金)
・研修実施時間・日数	9:30 ~ 16:30 (6時間/日)
・研修会場	福岡ソフトウェアセンター 福岡研修室
・研修受講料	55,000円 (税別・テキスト代込み)

2. 対象者

デジタル時代にクラウドサービスのプロジェクトリーダー・これから関わるメンバ
 ※プロジェクトマネジメントの基礎知識を有していることが望ましい

3. カリキュラムの概要

デジタル時代における価値創造、ビジネススピードに合わせて、いまや「変化への対応」を要求される時代です。現場のプロジェクトリーダー・マネージャは、プロジェクトの成功に向けて、ステークホルダの状況をつねに分析し、巻き込んでいくこと、いわゆる「人を動かすスキル」は益々重要性が高まります。実際は、目先の開発や運用業務に没頭してしまい、なかなか、その「巻き込み」のための人間関係を築くことができずにいることがあります。

そこで、実際にありそうなシーンでのショートケースを通して、具体的なシーンごとに「そのときどうする」「そのときどう話す」を考え、実務で使える瞬発力を高めるコースです。

PMP資格試験受験および資格保持のための時間認定証明を12時間支給します。また、本講座はPMIの「新CCRプログラム」に対応しています。

教育サブ・カテゴリー: technical 2.0 Leadership 7.0 Business and Strategic 3.0

4. カリキュラムの詳細

2日間(12時間)

科目		時間	科目の内容
1 日 目	1. DX時代のITサービス 2. DX時代のプロジェクトマネジメント	3.0h	◆DX(デジタルトランスフォーメーション)時代のビジネスモデル ◆DX時代のプロジェクトマネジメント~ PMBOKの動向
	3. パフォーマンス向上のためのエンゲージメント力	3.0h	◆プロジェクトにおけるエンゲージメントのマネジメントとは ◆相手を意識したビジネスコミュニケーション <実践:ショートケースメソッド① >
2 日 目	4. 変化できる組織 ~心理的安全性	3.0h	◆ステークホルダのタイプ別分析例 ◆人間関係のリスクキャッチ
	5. 「エンゲージメント」マスターをめざして	3.0h	◆炎上を起こすステークホルダ/無関心のステークホルダ ◆「エンゲージメント」マスターをめざして <実践:ショートケースメソッド② +ロールプレイ+振り返り>
計		12.0Hr	

※最低開催人数は6名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のためカリキュラムは予告なく変更させていただくことがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト

6. 到達目標

- ・ショートケースの分析を通じて、ステークホルダの状況を分析し、ステークホルダを巻き込みながら、人間関係を巧く構築するスキルを習得できる
- ・具体的なショートケースを想定して、具体的な状況ごとの「巻き込み」を考慮し、そのシーンに応じたロールプレイしながら、コミュニケーションスキルを向上させる